

明野地域ビジョン会議 通信 第4号

発行：明野地域ビジョン会議事務局

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたしております。

まちづくりの将来像と取組案がまとまりました

これまで、市内13地域において、地域の代表者等で構成する『地域ビジョン会議』を設置し、それぞれの地域における現状や課題を整理しながら、将来のまちづくりに向けた議論を深めてまいりました。

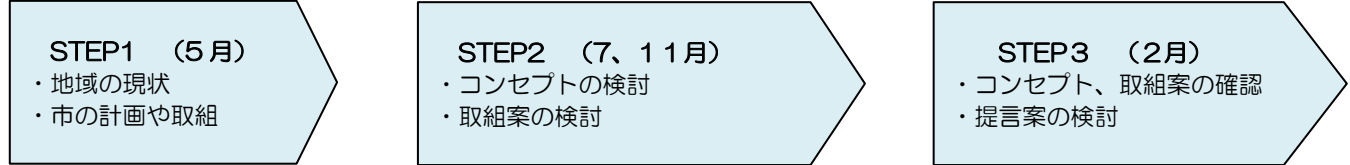
先日、第4回目の地域ビジョン会議を開催し、各委員が抱えている地域の目指すべき将来像やその実現に向け、地域と行政が一緒になって取組んでいくべき取組案等について、共有化を図りました。

第4回明野地域ビジョン会議

- 平成30年2月6日（火） 13:00～
- 場所：明治明野公民館 2階 研修室 1
- 開会**
- 一、会長挨拶
- 二、議事
 - 1 まちづくりのコンセプトについて
 - 2 まちづくりの取組について
 - 3 明野地域ビジョン提言（案）について
- 三、その他
 - 1 明野地域まちづくりビジョン（素案）について
 - 2 広報について
 - 3 今後の会議について
- 閉会**

これまでの地域ビジョン会議の流れ

これまで合計4回の地域ビジョン会議を開催し地域の魅力や課題の抽出、地域の将来像（まちづくりのコンセプト）とその実現に向けた取組案について、明野地区住民の総意で策定した『明野創生ビジョン』を踏まえ検討を行い、委員全員の認識の共有を図ってまいりました。



今後の検討予定

今後、地域の将来像と取組案について、地域の皆様のご意見を伺いながら「明野地域まちづくりビジョン」としてとりまとめを行い、将来のまちづくりに向けた提言として大分市長に提出いたします。

ご意見を募集します

◇『地域の将来像（まちづくりのコンセプト）』と『将来像の実現に向けた取組案一覧』（裏面に記載）をまとめましたので、地域住民の皆さまより特別なご意見等ありましたら、お寄せください。

- <募集先> 明野支所（電話：558-1255 FAX：551-9794）
- <募集期限> 平成30年4月16日（月）まで

地域の将来像（まちづくりのコンセプト）

～ひとが創る ひとが安心 ふるさと明野 そして未来～

<決定理由>

社会状況の変化や少子高齢化等により、人々の生活様式、価値観は様変わりし大きな転換期を迎えています。活力ある心豊かな明野コミュニティを新しく構築していくという想いを込め、上記の将来像に決定しました。

将来像の実現に向けた取組案一覧

番号	取組名	概要
1	コミュニティ新構築のための多世代交流	高齢者の技能や技術、知識の継承、さらには生きがいづくりや居場所づくりの解決を図るために、多様な組織や人材が活動する拠点施設が必要である。建設の際には、支所の配置、在り方について検討した上で、支所を核施設に図書館や各種交流施設、研修施設等を複合した「多世代交流プラザ」を建設する。
2	明野を総合防災拠点に	明野は地理的、地勢的にも優位性にあることから、防災訓練機能を備えた拠点施設を主とし、子ども科学館を併設した複合的な施設を建設する。
3	幹線道路整備と歩道の改良	慢性的な交通渋滞解消のため、松岡日岡線の交差点改良や沿線の用途地域変更、庄の原佐野線の早期延伸に取り組み、その関連事業として、大分臼杵線の4車線化を先行して進める。歩道のバリアフリー化、無電柱化を進める。
4	公園・緑地の整備と利活用	地域の交流・憩いの場となるよう、大人が利用できる運動器具の導入や、マルシェやフリーマーケットの開催、スポーツで利用される公園については特化した管理を講ずるなど、整備と利活用を行う。
5	防犯のための環境設計	社会状況の変化によって、防犯や交通安全の機能が相対的に低下してきている。子どもの見守り活動の実施、危険な場所の点検や改善など、防犯性の高いまちとなるよう環境設計を行う。
6	公共交通網の改善	地域内の商業者、病院等、自治会の協働と行政の援助で、コミュニティバスの運行を行う。
7	多様な世代に対応した住宅の供給	老朽化した公営住宅が再建の段階にきている。多様なニーズに対応できる住宅を供給するために、高層化やエレベータをつけるなど改良が望まれる。
8	地域の繋がり強化	自治会や社会福祉協議会が連携し、緊急連絡網の整備を行うことで、地域内で支え合うことができる仕組みをつくる。また、子ども同士の繋がり強化は、コミュニティを下支えし、将来にも繋がることから、子ども会の在り方を見直す。併せて、学校と家庭、地域の一層の連携を進める。
9	ふるさと意識の醸成	近年では、小学生への明野音頭の指導を行っており、ふるさと意識を醸成していく良い機会と捉えている。子どもたちのふるさとへの関心を深め、地域活動への参加意識を高める。
10	地域グループの創生と次世代のリーダー育成	地域の活力を継続的に発揮するには、子育て世代が地域活動に関わるのが最良のエネルギーであることから、横の繋がりをつくり上げ、地域グループによる積極的な活動を行う。他地域と比べ青年層の就業者が多いことから、地域行事に積極的に参加するよう働きかけ、次世代のリーダーとして育成する。
11	自治会区域の再検討	都市内分権を進める上では、自治会区域の再検討が必要である。円滑な運営、きめ細かな世話活動のために、実態を考慮し可能な限り規模の均等化を行う。
12	高齢者を支えるネットワークの構築	高齢者を地域でお互いに見守り・支え合うネットワークを構築し、豊かな地域福祉を実現する。
13	明野ブランドの創生	住民の交流と融和、生活のしやすさや教育環境、明野らしい文化・アート活動を地域の価値として、明野が誇る地域ブランド・イメージを強化する。